

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名 No. 640104 小規模企業等振興資金預託事業		主管課名 産業課															
	この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 久野 秀夫													
		施策	環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまち															
		基本事業	経営基盤の強化															
	(1)事業の概要																	
	事業を営んでいる個人または中小企業の商工業者の経営安定を支援するための融資制度を運営するために、愛知県と協調して市内の取り扱い金融機関に資金を預託する。（愛知県は市の2倍を預託）			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)														
				<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>預託額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名称	単位	預託額	千円					その指標				
	名称	単位																
	預託額	千円																
その指標																		
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		中小企業者が事業上必要とする資金の融通を円滑にするため、商工業振興資金融資を行う市内金融機関に対し、その資金を預託した。																
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容																
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)															
市内金融機関 (三菱東京UFJ銀行三好支店、名古屋銀行三好支店、岡崎信用金庫三好支店、碧海信用金庫三好支店、豊田信用金庫三好支店、豊田信用金庫三好北支店)			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>市内金融機関数</td> <td>行</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名称	単位	市内金融機関数	行					その指標					
名称	単位																	
市内金融機関数	行																	
その指標																		
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)															
円滑な融資を行うための条件整備をする			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>融資件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>融資金額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名称	単位	融資件数	件	融資金額	千円					その指標			
名称	単位																	
融資件数	件																	
融資金額	千円																	
その指標																		
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)															
商工業者の資金運用をしやすくする			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>商工業振興資金融資件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>商工業信用保証料補助金交付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>商工会会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名称	単位	商工業振興資金融資件数	件	商工業信用保証料補助金交付件数	件	商工会会員数	人					その指標	
名称	単位																	
商工業振興資金融資件数	件																	
商工業信用保証料補助金交付件数	件																	
商工会会員数	人																	
その指標																		
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																		
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値										
(5)の活動指標		千円	58,000	58,000	60,000	60,000	60,000	60,000										
(6)の対象指標		行	6	6	6	6	6	6										
(7)の成果指標		件	71	71	75	75	75	7										
		千円	317,700	389,120	300,000	300,000	300,000	30,000										
(8)の結果の成果指標		件	71	71	75	75	75	75										
		件	71	53	45	45	45	45										
		人	817	831	840	850	860	870										
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	07	項	01	目	02							
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値										
事業費(決算又は予算額)		単位	58,009	58,010	58,012	58,012	58,012	58,012										
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0										
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0										
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0										
	その他	千円	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000										
	一般財源	千円	9	10	12	12	12	12										
人件費B		千円	1,658	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483										
正職員従事時間×人数		時間×人	220×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2										
正職員以外の人件費		千円																
その他費用C		千円																
トータルコストA+B+C		千円	59,667	59,493	59,495	59,495	59,495	59,495										
単位あたりコスト		千円/行	9,945	9,916	9,916	9,916	9,916	9,916										
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/																
		千円/																

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	640104 小規模企業等振興資金預託事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和44年4月			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			預託額は前年の各金融機関の貸付実績により変動するが、近年の景気の不透明感により予測をすることが困難である。		
制度創設による						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化しリーマンショック以来、経済不況により商工				
変化している		内容 業振興資金の申込件数が増加している				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
					根拠法令	商工業振興資金融資制度要綱
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	→	この事務を行う根拠又は理由	資金融資は中小企業の経営安定化に密接な関係がある	
				(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	→
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない			
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由又は内容	景気の動向により左右される部分が多い。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	→	類似事業名	ある → 内容 ない
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	→	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	景気が上向いてきているものの、消費税の引き上げなど、社会情勢の変化が激しく、継続した支援の必要性がある。					